

**JASDAQ**

2016年9月26日

各 位

会 社 名 マックスバリュ九州株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐々木 勉
 (コード番号: 3171 JASDAQ)
 問 合 せ 先 管理統括部長 篠崎 岳
 (電話番号 092-433-1228)
 当社の親会社名 イオン株式会社
 代 表 者 名 取締役兼代表執行役社長
 岡田 元也
 (コード番号: 8267 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2016年4月13日に公表した2017年2月期第2四半期累計期間(2016年3月1日～2016年8月31日)の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

2017年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2016年3月1日～2016年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円・銭
前回発表予想(A)	82,000	1,050	1,050	350	46.47
今回修正予想(B)	85,500	1,350	1,350	450	59.73
増減額(B-A)	+3,500	+300	+300	+100	
増減率(%)	+4.2	+28.5	+28.5	+28.5	
(ご参考)前年同期実績	76,411	872	900	333	44.32

2. 個別業績予想の修正

2017年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2016年3月1日～2016年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円・銭
前回発表予想(A)	80,000	1,050	1,050	350	46.47
今回修正予想(B)	84,000	1,450	1,450	750	99.56
増減額(B-A)	+4,000	+400	+400	+400	
増減率(%)	+5.0	+38.0	+38.0	+114.2	
(ご参考)前年同期実績	74,354	917	946	380	50.57

3. 修正の理由

第2四半期累計個別業績予想

4月に発生した熊本地震の影響を受け、一時的に営業中止せざるを得ない店舗が発生しました。しかし、お客さまのライフラインとしての役割を果たすため、復旧に全社挙げて取り組み、いち早い通常営業にこぎつけました。この結果、熊本地区の店舗を中心に売上高や客数は前年を超過し、業績改善に大きく寄与しております。

また、中期経営計画に基づき、新しい店舗フォーマットの先駆けとなるライフスタイル型2店舗の新規出店を行うとともに、第2四半期からの既存店の改装実施による売上高の増加に加え、LED照明の追加導入と電気使用量減および単価下落による電気代の減少等による販管費の削減により、特に既存店におきまして収益改善が進んでおります。

よって、個別業績予想につきましては、売上高84,000百万円、営業利益1,450百万円、経常利益1,450百万円、当期純利益750百万円に修正いたします。この見直し修正により、第2四半期累計の営業利益および経常利益につきましては、過去最高益となる見直しです。

第2四半期累計連結業績予想

個別業績の見直しを踏まえるとともに、2016年9月1日を効力発生日とした完全子会社である株式会社クリエイト(以下クリエイトといいます)の吸収合併(以下本件合併といいます)を控えて、クリエイトの収益改善に取り組むため2店舗の閉鎖を行いました。この影響により、売上高85,500百万円、営業利益1,350百万円、経常利益1,350百万円、当期純利益は450百万円に修正いたします。

通期の業績予想につきましては、現在本件合併による業績影響を精査しておりますので、第2四半期累計業績発表時に、改めて見直しを行う予定としております。なお、本件合併により当社は単体決算に移行するため、個別業績予想のみ発表させていただく予定です。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上